

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	その他水系 南下条川 通常砂防事業に伴う測量設計業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.2	調査位置	広島県三原市須波西町	北緯	34° 21' 12.6608″				
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所	調査期間	令和5年 5月12日～ 令和5年 5月16日	東経	133° 04' 35.4857″				
調査業者名		主任技師		現場代理人					
コ	ア	鑑	定	者					
ボーリング責任者									
孔口標高	TP 93.24m	角	180° 上 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	36° 鉛直 0° 90°	使用機種	試験機 (株)東邦製D1-C型
総削孔長	7.00m	度	0°	向		エンジン	(株)ヤンマー製TF120M型	ポンプ	BG-3C

標尺	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験							試料採取			室内試験	削孔月日					
											深度—N値図		N値 (m)	深 度 (m)	100mm毎の打撃回数 〇 100 200 〃 〃 〃			打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量			深 度 (m)	試料番号	採取方法		
1	92.74	0.50	粘土混じり砂礫	粘土混じり砂礫	淡褐 黒褐	褐			表土層に該当。粘土混り砂礫状を呈する。礫は5mm程度、砂は中砂～粗砂主体。風化泥岩に該当。風化によって主に砂状コアとして採取。指圧によって容易に崩れる。岩級区分はDL級で土軟硬区分では土砂部に相当する。	5/15 9.90	0	10			20	30	40				50	60				1.15	13
2	91.79	1.45	風化泥岩	風化泥岩									黒褐	泥岩				泥岩に該当。主に岩片状～砂礫状コアとして採取。キレツが多くハンマーの打撃によって容易に砕ける。局所的に風化によって土砂状を呈する箇所有り。岩級区分はDL級で軟岩Ⅰに相当する。	5/15 1.95	45			1.15	13	16		
3																											
4	89.04	4.20																									
5			泥岩	泥岩		黒灰			石灰質な泥岩。主に短柱状～岩片状コアとして採取。土位置と比較して良質なコアでありコア肌は滑らか。節理は0°～20°のものが多い。岩級区分はDM～CL級で軟岩Ⅱに相当する。																		
6																											
7	86.24	7.00																									
8																											
9																											
10																											
11																											
12																											